

林業遺産認定
「木地師文化発祥の地 東近江市小椋谷」

木地師文化 フォーラム

令和元年7月15日(海の日)
13:30～15:45(12:00 開場)
木地師やまの子の家

参加無料
申込不要

ろくろの使用をはじめとする独特の技術・習慣・制度を古くから継承してきた東近江市小椋谷が「木地師文化発祥の地」として、滋賀県内では初めて林業遺産に認定されました。

全国各地の木地師、木地師にゆかりや関心のある方々が木地師のふるさと小椋谷につどい、木地師文化の継承と魅力ある木工芸の創造による地域づくりの可能性について考えます。

【プログラム】

① 林業遺産認定証伝達式

② 活動事例紹介

「木地師のふるさと アーカイブプロジェクト」

須藤 護さん(龍谷大学名誉教授)

高田 清さん(アーカイブプロジェクトボランティア)

③ パネルディスカッション

「木地業を地域づくりに活かす試み -産業としての新しい価値と発信-」

コーディネーター

櫻井 龍彦さん(名古屋大学名誉教授)

パネリスト

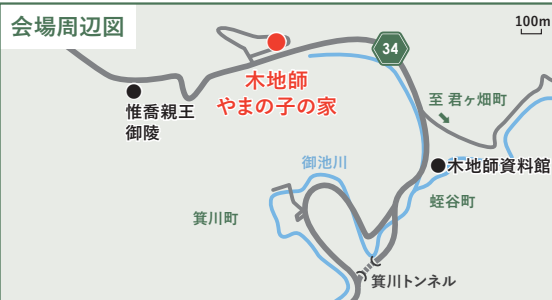
矢羽田 匡裕さん(ウッドアート楽代表/木地師)

酒井 義夫さん(ろくろ舎主宰/木地師)

山下 亨さん(岡山市美作市特定政策担当)

会場

木地師やまの子の家
東近江市蛭谷町342番地2



タクシーをご利用の場合: 近江鉄道八日市駅から約45分
お車をご利用の場合: 名神高速道路八日市ICから約35分

お問合せ

東近江市企画部企画課
滋賀県東近江市八日市緑町10番5号
TEL 0748-24-5610 FAX 0748-24-1457
MAIL kikaku@city.higashiomi.lg.jp

主催

東近江市

◆活動事例紹介

「木地師のふるさとアーカイブプロジェクト」

東近江市では、平成30年度から市が所有する木地製品や道具類の分類・整理を行うアーカイブプロジェクトを開始しました。龍谷大学須藤護名誉教授の指導のもと、市内外からのボランティアスタッフによる作業が進んでいます。

興味深い木地資料の特徴などについて、ボランティアスタッフが紹介します。

須藤 護さん(すどう まもる) 龍谷大学名誉教授

高田 清さん(たかだ きよし) アーカイブプロジェクトボランティア



◆パネルディスカッション

「木地業を地域づくりに活かす試み -産業としての新しい価値と発信-」

木と土によってあらゆるものづくりが行われていた時代と違い、現代は様々な素材が私たちの生活を形づくっています。木を資源として活用することが少なくなっている今、木地業で生計を立てることの意義と方策を問い直してみる必要があると感じています。

木地師には長い歴史と伝統、誇り高い技術と文化があります。しかし、伝統工芸としての価値と技術だけで存続できる時代ではなく、多様化する価値観に対応した木地業の新しい価値も必要になってきています。

特に若い人たちが職業として木地業を選択し、生業としていくためには、作品を商品として自立させ、販路も確保できる仕組みが不可欠です。また、木地業が産業として成り立つようになれば、雇用を生み出し、地域社会にも貢献できるようになると考えられます。

今回は、木地業の世界で新しい発想とデザイン、わざと知恵を創造につなげる工夫、ろくろ技術の伝承、多様な職人とのコラボレーション、地域交流とメディア発信などを通して、地域の再生や振興に取り組んでいる方々をお招きし、その理念・活動の成果と課題を知るとともに、その経験から、木地業が魅力豊かで持続可能な職業となるにはどうしたらよいか、ものづくりが人づくりになり、地域づくりとなるためにはどうしたらよいか、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

コーディネーター

櫻井 龍彦さん(さくらいたつひこ)

名古屋大学名誉教授

名古屋大学大学院文学研究科博士課程中退後、私学を経て名古屋大学大学院国際開発研究科に勤務。

組織再編で最後は同大学院人文学研究科に移り2018年退職。専門は東アジアの民俗学・文化人類学。主な編著に『東アジアの民俗と環境』金壽堂出版、『変わる中国 変わらない中国』全日出版、『東北アジア朝鮮民族の多角的研究』ユニテなどがある。



パネリスト

矢羽田 匡裕さん(やはた まさひろ)

ウッドアート楽代表 / 木地師

1969年大分県日田市に生まれる。高等専門学校卒業後、地元の金属部品メーカーに就職しながら、地域活動にも参加。その中で、より地元に着目した仕事をしたいと考えようになる。1996年退職し、大山町農協が取り組み始めた、大山特産の梅の古木を活用した工芸品製作を通じて、産業振興を目指す取組「梅の木工房事業」に参加。そこで里山クラフトの第一人者、時松辰夫氏に師事。「暮らしの中に木の楽しさを」をスローガンに、より良いものづくりを目指している。



パネリスト

酒井 義夫さん(さかい よしお)

ろくろ舎主宰 / 木地師

1980年北海道小樽市に生まれる。2007年福井県鯖江市に移住後、伝統工芸士清水正義氏に師事。2014年屋号をろくろ舎とし独立。伝統的な木地師として技術を継承しながら、独自の視点から商品の開発やプロデュースなどを手がける。一方で道具とアートの境界線を探りながら実験的な作品を製作し続けている。Young Designer Award 2015 受賞。高岡クラフトコンペディション入選。



パネリスト

山下 亨さん(やました とおる)

岡山県美作市特定政策担当

1949年岡山県美作市に生まれる。神戸大学法学部卒業。自治省・消防庁・総務省を歴任し、退官後帰郷。

学校法人作陽学園評議員を経て、2017年5月から2019年3月まで美作市政政策参与。「美作右手木地山の木地師」についての日本遺産登録申請に向けて、岡山県西粟倉村や兵庫県宍粟市等とともに、取り組んでいる。

